

2024 年 9 月 17 日
株式会社みずほ銀行

法人のお客さまの成長支援に向けた 企業間決済取引に関する取り組み強化について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦）は、グループ会社や外部のイノベーションパートナー企業と連携して、法人のお客さまの企業間取引の効率化を図り、売上拡大や生産性向上等によるお客さまの成長を支援します。第一弾として、従来は各社の決済サービスを紹介しかできませんでしたでしたが、このたび、お客さま 1 社 1 社の課題・ニーズに基づいてご提案・説明することが可能な媒介方式での取り扱いを開始します。

現在、少子高齢化等を背景とした労働人口の減少により、企業は人材不足という大きな課題に直面しています。加えて、インボイス制度・電子帳簿保存法の開始や手形・小切手の廃止など企業間決済取引を取り巻く環境も大きく変化しており、決済業務への取り組みも見直しが迫られています。

こうした状況への対応は、企業の重要な経営課題であると同時に、デジタル技術や新たな決済手段の活用によって企業価値・競争力を高める大きなチャンスでもあります。

〈みずほ〉は、グループ内外の金融・非金融機能の提供を通じて、法人のお客さまが抱える多種多様な課題の解決に向け支援する取り組み「みずほデジタルコネクト」を開始しています。今般、金融機能について、これまでより一歩踏み込んだ、媒介方式によるサービスのご提案が可能な体制とします。

媒介方式で取り扱うサービスは、みずほファクター株式会社、ユーシーカード株式会社、株式会社オリエントコーポレーション等のグループ会社のサービス、GMO イブシロン株式会社や SB ペイメントサービス株式会社のサービスが対象になります。

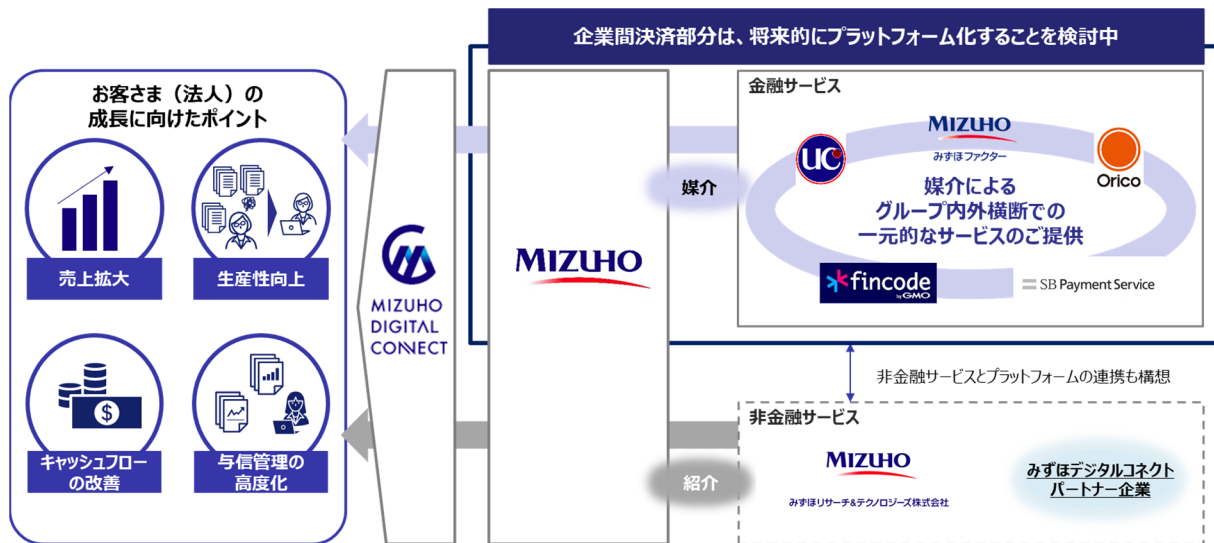
また、本取り組みを発展させ、お客さまの業務・システムと連携可能な企業間決済プラットフォームの提供により、お客さまの成長にさらに貢献していくことを検討しています。当該プラットフォームを通じて、お客さまが“必要なサービス”を“必要なとき”に“シームレス”に利用できる世界を目指します。

〈みずほ〉は、企業間決済の分野での新たな取り組みを継続し、あらゆるリソースを活用してお客さまの挑戦を支援することで、お客さまと社会全体の持続的な発展に貢献し、〈みずほ〉のパーパスである「ともに挑む。ともに実る。」を体現していきます。

ともに挑む。ともに実る。



【今回の取り組みの構成図】



■みずほデジタルコネクとは

株式会社みずほ銀行と、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社がグループ各社やパートナー企業と一体で法人のお客さまの DX を支援する取り組みです。

https://www.mizuhobank.co.jp/corporate/b_support/d_connect/index.html

以 上

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO